

令和 6 年度 自己評価について

保育者の自己評価から

保育者には、以下のような項目の自己評価を課した

四段階評定・A：十分に達成されている B：ほぼ達成されている

C：取り組んでいるが、不十分 D：取り組みが不十分

- ① 保育理念の「見守る」ことを理解し、実践している
A:30.0% B:63.3% C:6.7% D:0%
- ② 子どもの個人差を受け入れ、一人ひとりの違いに配慮している
A:33.3% B:63.3% C:3.3% D:0%
- ③ 子どもの興味関心に応じて、臨機応変に保育を実践している
A:6.7% B:76.7% C:13.3% D:3.3%
- ④ 子どもが選択できる機会を与えている
A:23.3% B:63.3% C:13.3% D:0%
- ⑤ 子ども同士のかかわりを促す援助をしている
A:33.3% B:56.7% C:10.0% D:0%
- ⑥ 場面に応じた声の大きさを心がけている
A:23.3% B:50.0% C:20.0% D:6.7%
- ⑦ 行事はねらいを明確にして、子どもにとって負担がないように配慮している
A:23.3% B:53.3% C:20.0% D:3.3%
- ⑧ 生活しやすい環境設定をしている
A:16.7% B:53.3% C:26.7% D:3.3%
- ⑨ 子どもの興味関心に応じて、遊びのコーナー等の環境設定をしている
A:6.7% B:53.3% C:36.7% D:3.3%
- ⑩ 整理整頓を心がけている
A:43.3% B:43.3% C:10.0% D:3.3%
- ⑪ 園内での情報共有ができています
A:26.7% B:50.0% C:23.3% D:0%
- ⑫ 保護者との信頼関係を築けるよう努めている
A:16.7% B:80.0% C:3.3% D:0%
- ⑬ 保護者の思い・要望・苦情に対して、真摯に対応している
A:26.7% B:63.3% C:10.0% D:0%

- ⑭ 研修に参加する機会が保証されている
A:53.3% B:43.3% C:3.3% D:0%
- ⑮ 子どもの健康状態を把握し、対応できている
A:46.7% B:46.7% C:6.7% D:0%
- ⑯ 食物アレルギー等に対応して、事故のないよう配慮できている
A:76.7% B:23.3% C:0% D:0%
- ⑰ 感染症対策を十分にしている
A:50.0% B:50.0% C:0% D:0%
- ⑱ 怪我等があった時に、迅速で適切な対応を行っている
A:56.7% B:40.0% C:3.3% D:0%

すべての指標において、改善がみられた。園内研修での効果があらわれたと言える。「研修の機会の保障」についても、満足している職員が増えている。

保護者アンケートから

解答率 60%

- ・当園の保育方針について理解しているか
理解している 93.4%
- ・当園の保育方針について共感できているか
共感できる 94.3%
- ・子育てに関する相談等について 相談、意見、苦情を伝えやすいか
伝えやすい 82.1% 伝えづらい 4%

保育方針の理解、共感については、100%をめざしていく。

相談しやすい雰囲気と信頼関係については、改善を要する。

考 察（課題と改善策）

- 子どもの安全確保は最優先で改善する
- 保育理念である子どもの「見守り」、保育者と子どもの「適切な距離感」の深い理解が必要
- 行事が子どもにとって負担であると感じる保育者が多い 行事のあり方を再考していく
- 環境設定がままならない 設定の時間を生み出していく
- 保護者対応は、接点の少ない保護者へのアプローチの仕方に工夫をしていく
- 全職員、最低でも年に一度は研修の機会を設ける
- 保育理念共有の場が必要（とくに常勤職員以外）である 園内研修を行う
- クラス・チーム内のみの保育とせず、「みんなでみんなをみるほいく（オープン保育）」を推進していく
- 園内研修にて、安全管理のリスクマネジメントを学ぶ機会を最優先で持つ
研修を通して、園全体での安全管理の徹底システムを構築する
- 職員の情報共有の徹底をする（ICT ツール使用）
- 保育理念について話し合う機会、情報発信する機会を持つ
- アプリ「コドモン」を使用するなど、事務負担がかからずかつ、頻繁な保護者への情報発信に努める
- 研修参加の機会を多く設け、職員全体のレベルアップをはかる